【第一報】朝來漲る不穩の氣中に開かれた九條市民館に於ける大電罷業同情演說會は午後九時四十分殺氣立つた中に閉會したが聽衆千餘名の中凡そ二百の罷業職工は中の島の大阪電燈會社に押寄せ一談判試みんとて勢ひ凄じく馳せ出づるや二百の彌次馬之に加はり總計約五百名の一團は一散に端建藏橋へと差掛つたそれと見た約百卅名の警官隊は端建藏橋で此一團を喰止めようと必死に警戒線を張り、で双方睨み合ひの姿となつたが中には警戒を潛つて大電本社並に安治川、春日出兩發電所にも向つた樣子があり警官隊は各方面の警戒に努めて居る（十五日午前零時廿分大阪發）

警官十四 群衆廿餘
負傷者續出

【第二報】かくて一方安治川發電所に向つた群衆は其數二百に上り共に勞働歌を高唱しつゝ示威行列を試みたが警官隊に喰止められて手の出しようがなく十一時方向轉換春日出發電所に向ひたるが此處も亦警官の警戒嚴重にして如何ともする事出來ず唯各所で小競り合をなし警官側に十四名勞働者側に廿餘名の負傷者を出し一時は如何なる大事變突發せんかと思はれたが左したる事なく各所とも夜の更くると共に退散した猶重傷者は警官側に多く外に多數の檢束者を出し形勢混沌たるも詳細後報（十五日午前一時）

「これが絶頂（クライマックス）だ」
上京中の田中警察部長語る
＝今朝急遽歸阪せん＝

右に付上京中の田中大阪府警察部長は語る『この問題のため警察部長會議に列席するのも遲れ漸く十四日朝になり略大丈夫と見て特急列車でやつて來たので、モ少し前着京した許りである、勿論また何の報告も手にせぬが出た後で直ぐそんな事が起らうとは多少豫期せぬでもなかつたが意外の感が深い、併しこれが所謂絶頂で問題は解決に一歩を進めると思ふ……左樣 私は明朝（十五日）特急列車で直に歸阪する』

爆發前の形勢
持久戰に入つて 職工側勝ち誇る

大電爭議の第一戰は會社の高壓手段で一段落を見たが第二戰の持久戰に入つて警察部の仲裁も捗々しからず何れに軍扇が揚るか容易に見極めがつかぬ、併し電業員組合が友愛會其他の勞働團體と提携して執つた復業職工の就業を『妨害』する運動は確に奏功して大分會社側に痛手を負はせ殊に兩發電所の主腦者は戰々恟々たる有樣である、一方では發電所に籠詰となつて三百七十名の復業職工は家族の安否を氣遣ひ頻りに歸宅を申出でるが會社側は歸宅を許す時は解雇職工に誘惑されるを恐れて何うしても許さず復業職工は此點に

『不服』を唱へて兩發電所の形勢は今や全然樂觀を許し難い、會社側は持久戰の對應策として內部の充實を計るに決し市內各

……主者と共に府警察部高等課を訪ひ加賀美課長に會見を申込み官舍で約卅分間に亘り會見を遂げたが右は佐藤氏が大電の現狀を見るに忍びず再起したものであると（十四日、大阪發）

西尾氏召喚
友愛會大阪支部主事關西勞働組合聯合會主事西尾末廣氏は十三日夜大阪區裁判所檢事局から召喚され十四日午前十時檢事局に出頭し佐藤前代表から提起の名譽毀損に關する件及び友愛會員と大電爭議との關係に關して約二時間に亘り取調べられた（十四日、大阪發）

汽車會社の職工に貫つて
勢込む大電の罷業職工

十三日午後四時半大阪西區春日出小學校横手の廣場へ蝟集した汽車會社の職工約五百が廿五俵の白米を中心として凄い文句を並べて居る所へ大電電業員組合員友愛會員……

側から電業側に
資本家と戰つて居る電業組合が最後の勝利を得るために我等はその兵糧として白米廿五俵と金一封を寄贈する我等は力のあらん限り今後勞力において又物質において電業側に後援したい、どうか屆けず……

……白木綿に『汽車會社職工有志』と白く書附した長旗を先頭に何々寄附何々團、電友會旗等を押立てゝ示威行列に移つた、列の先頭が春日出發電所の正門前に來ると私服制服の警官が約二百名大事あらばと警戒した、悲壯な勞働歌に次でワッショ／＼の掛聲が嚴めしい發電所の板塀を貫いて作業中の復職職工……

く……を繰り返して安治川三丁目の交番所前を西北に折れて二十五俵を西野田對込町の事務所に運び入れ此處で數名の十分間演說があつて六時廿分無事解散し幹部は北傳法町法泉寺の演說會に臨んだ、が兩發電所の中は棍棒を携へた國粹會員と警官隊とで埋まつて居た

雇傭契約を除いた狹義の交渉權に
略一致した大電と警察側の意見

警察部の手で仲裁の再燃しさうな大電問題は其後田中部長と加々美特高課長とから大電及び友愛會側の意見をそれとなく徵した所例の提出條件の第一條の團體交渉權につき雇傭契約を除き狹義の交渉權……

御引合ヲ乞フ

豫防 呼吸器其他傳染病系所有効證明 結核療法豫防會推奬
口消毒器
西區四ツ橋南西岸（電話新町二六七〇）
合資會社 浪速商會

一營業案內附商男 大 電 話
れても

一其他一般信託業務

松竹ノ新……